

予防接種について【小児】

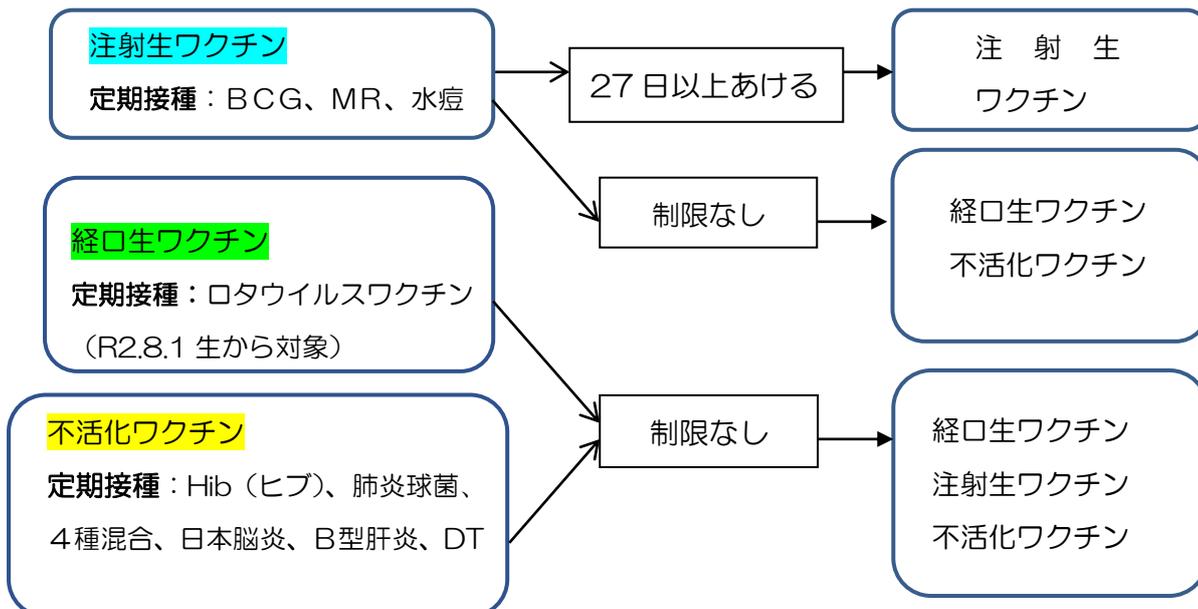
○予防接種法によって、対象疾病、対象者及び接種期間などが定められた予防接種が定期接種です。定期接種は、個人の感染を予防することはもちろんですが、感染症の流行を社会的に予防する意義もあるため、接種するよう努めなければなりません。また、極めてまれですが、予防接種により健康被害が発生する場合があります。予防接種には病気ごとにそれぞれ接種に適した時期があります。十分理解した上で、標準的な接種期間に接種しましょう。かかりつけ医を持ち、相談しながら進めていきましょう。

○転出した場合は、国頭村発行の予診票は使用できません。転入者の方は親子（母子）健康手帳の予防接種欄のコピーを提出してください。国頭村では赤ちゃん訪問で予防接種ノート（0歳～6歳までの予防接種予診票綴り）を渡しています。国頭村へ転入された方に対しては予診票を郵送しています。

※予防接種健康被害救済制度について

万が一、定期の予防接種による重篤な健康被害が発生した場合には、被害者からの健康被害救済に関する請求ができます。その際、発生した健康被害が予防接種によるものであると、厚生労働省が因果関係を認定した場合、国の定める医療費、医療手当等の給付を受けることができます。

異なる種類のワクチンを接種する場合の間隔



※特に医師が認めた場合、同時接種ができます。

※小児肺炎球菌やロタウイルスワクチンなどを複数回接種する必要がある場合、接種間隔がそれぞれ設けられています。

※接種期間は、各予防接種で異なります。対象年齢以外の接種は自己負担となりますのでご注意ください。

定期予防接種の種類 （※子宮頸がんワクチンについては別途記載しています。）

| | |
|---|---|
| B型肝炎 | B型肝炎は、B型肝炎ウイルスの感染により起こる肝臓の病気です。B型肝炎ウイルスは、一過性の感染で終わる場合と、そのまま感染している状態が続いてしまう場合（この状態をキャリアといいます）があります。キャリアになると慢性肝炎になることがあり、そのうち一部の人では肝硬変や肝がんなどの命に係わる病気を引き起こすこともあります。 |
| Hib (インフルエンザ菌 b型) | インフルエンザ菌b型(Hib)は髄膜炎や喉頭蓋炎・敗血症などの重篤な侵襲性感染症の原因となっています。特に、Hib 髄膜炎は予後不良になる場合が多く、致死率は約5%、てんかん、難聴、発育障害等の後遺症が約25%に残ります。ワクチン接種で感染を予防することが効果的とされています。 |
| 小児の肺炎球菌 (13価結合型) | 肺炎球菌は、乳幼児の上気道に感染後、ときに化膿性髄膜炎、敗血症、肺炎などの重篤な全身感染症や中耳炎、副鼻腔炎など気道感染症を起こします。致死率や後遺症例の頻度はHibによる髄膜炎より高く、約21%が予後不良とされています。 |
| 百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ (4種混合： DPT-IPV) | <ul style="list-style-type: none"> ・百日咳は、百日咳菌の飛まつ感染によって起こります。普通の風邪のような症状から始まり、続いて咳がひどくなり、顔を真っ赤にして連続的にせきこむようになります。乳児期には、呼吸困難になることがあり、さらに肺炎や脳症などの合併症を起こすこともあります。 ・ジフテリアはジフテリア菌の飛まつ感染によって起こります。国内でほとんど発生の報告はありませんが、アジア地域での流行報告があります。約2～5日間の潜伏期を経て、発熱・咽頭痛・嚔下痛等で発症します。咽頭ジフテリアになると、嚔声、犬吠様の咳がみられ、呼吸困難を認めます。 ・破傷風は、土の中にいる破傷風菌が傷口から入りこむことによって感染します。破傷風菌の出す毒素が、強直性けいれんを起こします。火傷、傷口から人の体内に侵入する感染症です。 ・ポリオウイルスは、口から入り咽頭や小腸で増殖し、感染してもほとんどが症状は出ないが、症状が出る場合、ウイルスの感染が脳・脊髄へ広まり麻痺を起こすことがあります。 |
| 結核 (BCG) | BCGは、結核菌による感染を予防するために行われます。結核菌は重症の結核患者のせきやくしゃみで飛び散り、それを別の人が吸い込むことによってうつります(空気感染)。感染し、発症すると肺結核、結核性髄膜炎、骨・関節結核、腎結核等をおこします。特に乳幼児や高齢者は抵抗力が弱いとため重症化しやすくなります。 |
| 麻疹風しん (MR) | 麻疹は麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力は非常に強いとされています。風しんウイルスは妊娠が20週頃までに感染すると先天性風しん症候群と呼ばれる障害を持った児が生まれる可能性が高くなります。 |
| 日本脳炎 | 日本脳炎ウイルスの感染によるウイルス性の急性脳炎です。感染者100～1000人に1人が脳炎等を発症すると考えられています。現在でも致死率20～40%程度と考えられています。人から直接ではなくブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。予防接種の普及・環境の変化で減少しました。 |
| 水痘 | 水痘は水痘帯状疱疹ウイルスの感染によって起こる病気です。潜伏期は約2週間で、発疹と軽度の発熱を伴って発病します。発疹は赤い丘しんから始まり、水ぶくれ、最後はかさぶたを残して治癒します。 |
| ロタウイルス | 口から侵入したロタウイルスが腸管に感染して発症します。感染力が非常に強い感染症です。下痢や嘔吐は1週間程度で治りますが、下痢・嘔吐が激しくなると、脱水症状を起こす場合もあり、乳幼児の急性胃腸炎の入院の中でも、最も多い感染症です。初めてロタウイルスに感染した時は、得に重症化しやすく、まれに脳や腎臓に影響を及ぼすこともあり、生後すぐに感染する場合もあるので、ワクチン接種は早い時期に完了させます。 |
| ジフテリア・破傷風(DT) | DPT-IPV接種の基礎免疫に続く第2期として、ジフテリア・破傷風2種混合ワクチン(DT)を1回定期接種として行います。 |

定期予防接種の種類

生後2か月～小学校就学前まで接種するもの（定期接種は無料で接種できます）

| 予防接種名 | | 接種回数 | 対象年齢（接種期間）及び接種方法 | 予診票の色 | 接種場所 |
|---------------------------|----------------------------|--------------------------------------|---|-------|--------|
| B型肝炎 | | 2か月～1歳未満 | | | |
| 初回接種 | 2か月～1歳未満 | 3回 | 27日以上の間隔において2回接種、第1回目の接種から139日以上の間隔を置いて3回目接種 | 灰 | 指定医療機関 |
| ロタウイルスワクチン（ロタリックス） | | 出生6週から24週まで（経口生ワクチン） | | | |
| 初回接種 | 初回接種は出生6週から14週6日まで（ロタリックス） | 2回 | 27日以上の間隔をあけて、2回接種 経口生ワクチン（飲むワクチン） | オレンジ | 指定医療機関 |
| ロタウイルスワクチン（ロタテック） | | 出生6週から32週まで（経口生ワクチン） | | | |
| 初回接種 | 初回接種は出生6週から14週6日まで（ロタテック） | 3回 | 27日以上の間隔をあけて、3回接種 経口生ワクチン（飲むワクチン） | オレンジ | 指定医療機関 |
| Hib（インフルエンザ菌b型） | | 2か月～5歳未満（標準として2か月～7か月未満で接種開始） | | | |
| 初回接種開始時 | 2か月～7か月未満 | 4回 | 27日～56日までの間隔で3回、3回目接種から7か月～13か月の間に1回接種 （2回目及び3回目の注射は、生後12ヶ月に至るまでに接種することとし、それを超えた場合接種は行わない。追加接種は実施可能であるが、初回接種に係る最後の注射終了後27日以上の間隔を置いて1回接種） | 緑 | 指定医療機関 |
| | 7か月～1才未満 | 3回 | 27日～56日までの間隔で2回、2回目接種から7か月～13か月の間に1回接種 （2回目の接種は、生後12ヶ月に至るまでに接種することとし、それを超えた場合接種は行わない。追加接種は実施可能であるが、初回接種に係る最後の注射終了後27日以上の間隔を置いて1回接種） | | |
| | 1歳～5歳未満 | 1回 | 1回接種 | | |

| 小児の肺炎球菌（13価結合型） | | | 2か月～5歳未満（標準として2か月～7か月未満で接種開始） | | |
|-----------------------------|-----------|----|---|-------|--------|
| 初回接種開始時 | 2か月～7か月未満 | 4回 | 27日間以上の間隔で3回、3回目接種から60日間以上あけて1回（生後12ヶ月～生後15ヶ月の間）に接種 <u>（2回目及び3回目の注射は、生後24ヶ月に至るまでに接種することとし、それを超えた場合は接種行わない。また、初回接種のうち2回目の注射は生後12ヶ月までにおこなうこととし、それを超えた場合は、初回接種のうち3回目の注射は行わない。追加接種は実施可能）</u> | 白 | 指定医療機関 |
| | 7か月～1歳未満 | 3回 | 27日間以上の間隔で2回、2回目接種から60日間以上あけて1回接種。（初回接種のうち2回目の注射は、生後24ヶ月に至るまでに接種することとし、それを超えた場合は接種しない。追加接種は実施可能） | | |
| | 1歳～2歳未満 | 2回 | 60日間以上あけて2回 | | |
| | 2歳～5歳未満 | 1回 | 1回接種 | | |
| 4種混合 （ポリオ・ジフテリア・百日咳・破傷風） | | | 3か月～7歳6か月未満 | | |
| | 1期初回①②③ | 3回 | 20日～56日までの間隔で3回接種 | 黄色 | 指定医療機関 |
| | 1期追加 | 1回 | 初回③から1年～1年半後に接種 | | |
| DT（ジフテリア・破傷風） | | 1回 | 11歳以上13歳未満（小学校6年生に送封） | 黄緑 | |
| BCG | | 1回 | 生後5か月～1歳未満 （標準5ヶ月～8か月） | 水色 | |
| 麻しん風しん （MR） | 1期 | 1回 | 1歳～2歳未満 | クリーム色 | 指定医療機関 |
| | 2期 | 1回 | 小学校就学前の1年間 （毎年7月頃集団接種を予定しています。個別接種も可能です。） | | |
| 日本脳炎 | | | 3歳～7歳6か月未満 | | |
| | I期初回①② | 2回 | 6日～28日までの間隔で2回接種 | ピンク | 指定医療機関 |
| | 1期追加 | 1回 | 初回②から6ヶ月以上（概ね1年後に接種） | | |
| | II期 | 1回 | 9歳以上13歳未満（小学校4年生に送封） | | |
| 水痘 | | | 1歳～3歳未満（標準として12か月～15か月で接種開始） | | |
| 1歳～3歳未満 | | 2回 | 1回目終了後3か月以上の間隔において2回目を接種（標準的には6ヶ月～12ヶ月間隔） | 赤 | 指定医療機関 |

※接種期間は、各予防接種で異なります。接種期間以外の接種は自己負担となりますのでご注意ください。

指定医療機関（令和2年9月作成）

| 医療機関名 | 電話番号 | ヒブ | 小児用肺炎球菌 | 4種混合 | BCG | MR | | 日本脳炎 | 水痘 | B型肝炎 | ロタリックス【2回】 | ロタテック【3回】 |
|-----------------------------------|--------------|----|---------|------|-----|----|-----|------|----|------|------------|-----------|
| | | | | | | I期 | II期 | | | | | |
| あがりえクリニック | 0980-43-0271 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 新垣耳鼻咽喉科 | 0980-53-5586 | × | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × |
| うりずん診療所 | 0980-54-6633 | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × |
| おおにし医院 | 0980-43-0200 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| 大宮医院 | 0980-53-4116 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| かじまリゾートクリニック | 0980-51-1197 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 儀保小児科内科医院 | 0980-53-4833 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 育ちのクリニック | 0980-53-3366 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 名護療育医療センター | 0980-52-0957 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| ゆうクリニック | 0980-54-8010 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| やんばる協同クリニック | 0980-52-1001 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × |
| 北部山里クリニック | 0980-52-1119 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × |
| 国頭診療所 | 0980-41-5380 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 国頭村立東部へき地診療所 | 0980-41-7511 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 名護市屋我地診療所 | 0980-52-8887 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 大宜味村立診療所 | 0980-50-5450 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| 沖縄県立北部病院 ※通院者のみ | 0980-52-2719 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 沖縄県立中部病院 ※通院者のみ | 098-973-4111 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 沖縄県立南部医療センター・ こども医療センター ※通院者のみ | 098-888-0123 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

※その他医療機関については病院へお問い合わせください。

接種する前に・・・

- 医療機関に電話予約をしましたか。
- 予診票の記入モシはありませんか。
- お子さんの体調はいいですか。
- 親子（母子）健康手帳、保険証はもちましたか。

予防接種に関する問い合わせ先
国頭村福祉課 保健センター 0980-41-5767

予防接種に関する一般的注意

◎予防接種を受ける前の注意

- 1) 予防接種はお子さんの体調のよい時に受けるものです。お子さんの健康状態には充分気をつけましょう。何か心配のあるときは、かかりつけ医の医師にご相談ください。
- 2) 予診票は、お子さんの健康状態に詳しい保護者が記入し、親子(母子)健康手帳と一緒に持参してください。

◎予防接種を受けることができない子

- 1) 接種施設で測定した体温が 37.5℃以上あるお子さん。
- 2) 重い急性の病気にかかっているお子さん。
- 3) 予防接種の接種液の成分によって、30分以内にひどいアレルギーをおこしたことのあるお子さん。
- 4) その他、医師が接種しない方が良くないと判断したお子さん。

◎接種を受けるときに注意が必要な子

(接種にあたっては、かかりつけ医と相談する必要がある子)

- 1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患を有するお子さん。
- 2) これまでの予防接種で2日以内に発熱がみられたお子さん及びアレルギーを疑う症状(全身の発疹やじんましんなど)がみられたお子さん。
- 3) 接種しようとする接種液の成分に対して、アレルギーをおこすおそれのあるお子さん。
- 4) これまでにけいれん(ひきつけ)を起こしたことがあるお子さん。
- 5) 過去に免疫不全の診断がなされているお子さん及び近親者に先天性免疫不全症の者がいるお子さん。

○県外で予防接種を受ける場合について

里帰り等で一時的に県外に滞在中にお子さまの予防接種を受ける場合は、国頭村から発行する「予防接種実施依頼書」が必要となります。この依頼書に基づいて接種をすることにより、予防接種による健康被害が万が一発生した場合に、予防接種法による救済措置を受けることができます。また、接種後に払い戻しを受けるためにも、必ず依頼書交付申請書を提出して下さい。接種費用はいったん自己負担していただいた後で、基準に基づいて払い戻しいたします。希望の方は国頭村保健センターまでご連絡下さい。

○長期療養特例措置について

定期予防接種の対象期間に、長期にわたり療養を必要とする疾病にかかった等の特別な事情により対象期間内に定期予防接種を受けることができなかつたと認められる方については、定期予防接種を受けることができます。希望の方は国頭村保健センターまでご連絡下さい。

○子宮頸がんワクチン（定期予防接種）について

現在、積極的な勧奨（個別通知）を差し控えています。接種を希望する場合は、有効性と安全性を十分に理解したうえで接種してください。また、希望者には予診票を送付しますので、ご連絡ください。

□対象年齢：小学校6年生～高校1年生まで

□接種回数・間隔：全3回（同じワクチンを3回接種）

・2価（サーバリックス）標準として、1月の間隔をあけて2回接種した後、1回目の接種から6月の間隔をあけて1回接種。

・4価（ガーダシル）標準として、2月の間隔をあけて2回接種した後、1回目の接種から6月の間隔をあけて1回接種。※標準的な接種時期として、13歳になる日の属する年度の初日から当該年度の末日までに接種します。

○任意予防接種一部助成について（おたふくかぜワクチン）

村では任意の予防接種「おたふくかぜ」のワクチン予防接種の費用を一部助成（自己負担1000円を超える額）いたします。この予防接種は法定の予防接種とは異なり、保護者の方が接種を判断する予防接種となります。下記資料をご確認ください。